

社会学研究科学位授与方針

■博士課程前期課程

本課程に2年(4学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、修士(社会学)の学位を授与する。本課程の修了者は、次のような能力を身に付けている。

1. 社会学及び関連分野における理論的及び経験的知識を理解し、適切に活用できる。
2. 社会学及び関連分野における現実的及び理論的諸問題について学術的な研究課題を設定できる。
3. 社会学及び関連分野における研究課題を達成するのに適切な研究方法や調査方法を用いることができる。
4. 社会学及び関連分野における調査研究において適切な倫理的配慮をすることができる。
5. 社会学及び関連分野において独創的な成果を創出し、その成果を口頭および論述をとおして論理的に説明ができる。
6. 社会学及び関連分野の研究を通じて、文化の進展に寄与できる。

■博士課程後期課程

本課程に3年(6学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格した者に、博士(社会学)の学位を授与する。本課程の修了者は、次のような能力を身に付けている。

1. 社会学及び関連分野における高度な理論的及び経験的知識を深く理解し、独創的に活用できる。
2. 社会学及び関連分野における現実的及び理論的諸問題について高度に学術的な研究課題を設定できる。
3. 社会学及び関連分野における研究課題を達成するのに高度な研究方法や調査方法を用いることができる。
4. 社会学及び関連分野における調査研究において適切な倫理的配慮をすることができる。
5. 社会学及び関連分野において独創的な成果を創出し、その成果を口頭および論述をとおして論理的かつ明確に説明ができる。
6. 社会学及び関連分野の研究を通じて、社会に提言し、文化の進展に寄与できる。